ナショナルサイクルルートに指定された富山湾岸サイクリングコースの整備

富山県 土木部 道路課 計画係

1. はじめに

令和３年５月31日，「富山湾岸サイクリングコース」が，国土交通省において，日本を代表するサイクリングルートとして国内や海外にPRする「ナショナルサイクルルート」に指定されました。

今回の指定は，富山湾や立山連峰をはじめとする美しい自然景観や，多様な歴史，文化，食などの観光資源とあわせた，サイクリング環境の整備や「富山湾岸サイクリング」などイベントの開催など，沿線自治体やサイクリング関係団体等と連携した，これまでの取組が評価されたものと考えています。

2. 富山湾岸サイクリングコースの整備

富山県では，平成26年10月，富山湾の「世界で最も美しい湾クラブ※」への加盟を契機とし，平成27年４月に「富山湾岸サイクリングコース」を氷見市から朝日町まで約88 kmを整備し，平成30年度には，石川，新潟の両県境に延伸整備し，延長102 kmとしています（図－1）。

※ユネスコが支援する非政府組織（NGO）で，湾を活用した観光振興と資源の保存を目的に活動。世界遺産のフランス・モン サン ミッシェル湾やベトナム・ハロン湾等が加盟。

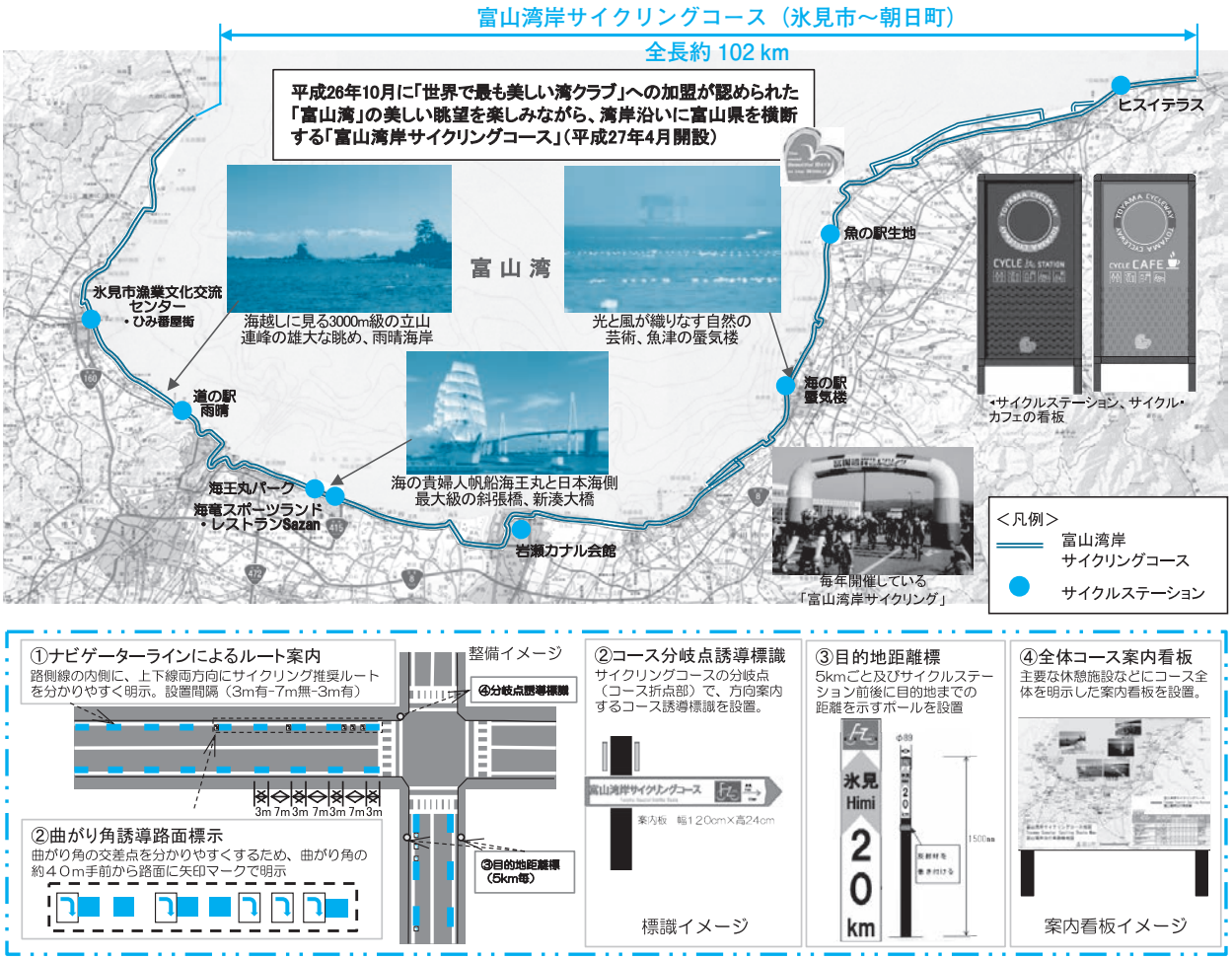
富山湾に浮かぶ3,000 m級の立山連峰，日本海側最大級の斜張橋「新湊大橋」と帆船海王丸，美しいエメラルドグリーンのヒスイ海岸，自然の光と風が織りなす蜃気楼，これらの美しい景観を楽しみながら走行できる点が最大の特色です（写真－1）。また，勾配が少なく，ファミリーからシニアまで幅広い世代の方に安全で快適にサイクリングを楽しんでいただける点も特色と考えています。

コースの整備については，国や富山湾沿岸の９市町と連携して進めています。具体的には，

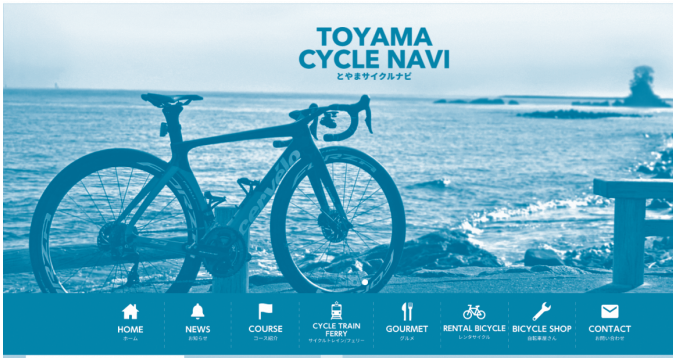
① 車道の左側や自転車道にコースの目印となる青色破線のナビゲーターライン
② コース分岐点誘導標識・路面標示
③ 目的地やサイクルステーションまでの距離を示した距離標
④ 道の駅などへの全体案内看板

などの整備を進めています。

写真－1 富山湾に浮かぶ立山連峰



図－1　富山湾岸サイクリングコースの整備概要



図－2　富山県サイクリング公式サイト「とやまサイクルナビ」

図－3　「とやまサイクリングマップ」

また，平成 29 年度から，より安全で快適に走行できるよう，海岸管理用通路等を活用して，氷見市の島尾海岸や滑川海岸などで自転車歩行者専用道を整備するとともに，入善海岸などではより海岸に近いルートを整備しています。現在，専用道区間は約 22 km となっています。

その他，幅員の狭い区間や自動車交通量の多い区間等，走行に注意を要する区間については，ドライバーやサイクリストに注意して走行してもらえるよう，現地に看板を設置しており，マップやホームページにおいても，注意を要する区間を示して注意喚起を図っています。

さらに，サイクリストのニーズに対応するため，バイクラックの設置，空気入れ・修理工具の貸し出し，トイレの使用や飲料水の提供など，サイクリスト向けの各種サービスが受けられる道の

駅等の施設を「サイクルステーション」，喫茶店やレストランを「サイクル・カフェ」としてそれぞれ整備，認定しており，休憩施設などの受け入れ環境の充実も図っています。

詳細は，富山県サイクリング公式サイト「とやまサイクルナビ」（https://cycling-toyama.jp/）に公開するとともに，ポケットに収まるサイズで携帯しやすい「とやまサイクリングマップ」をサイクルステーション，サイクル・カフェ，観光協会等で配布し，サイクリストに必要な情報の発信に努めています（図－2，3）。

3. 走行環境のさらなる充実について

ナショナルサイクルルートは，自転車活用推進法に基づき，サイクルツーリズムの推進のため，国土交通省が走行環境やサポート体制等の一定の要件を満たすルートを対象として指定するものです。

令和元年9月に創設された制度で，富山湾岸サイクリングコースは，「トカプチ400（北海道）」，「太平洋岸自転車道（千葉県，神奈川県，静岡県，愛知県，三重県，和歌山県）」とあわせて第2次指定されました。

なお，令和元年11月に「つくば霞ケ浦りんりんロード（茨城県）」，「ビワイチ（滋賀県）」，「しまなみ海道サイクリングロード（広島県，愛媛県）」が第1次指定されており，現在，全国で六つのルートとなっています。

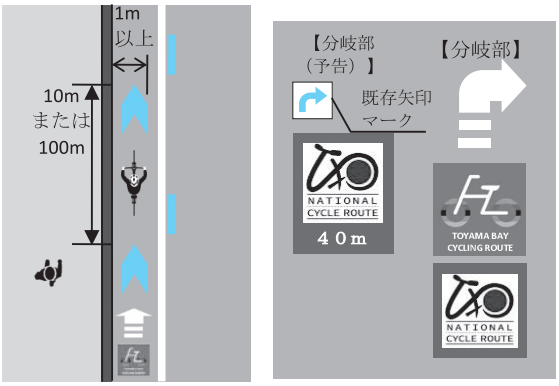
県では，ナショナルサイクルルートに指定されたことを受け，さらなる走行環境の充実を図ることとしています。具体的には，

① 国の「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に基づく，矢羽根型路面標示や自転車ピクトグラムの設置（図－4）

② 多言語による分岐点誘導標識の増設

などの整備を予定しています。

また，③県内外からのサイクリストの受け入れ拠点となるゲートウェイの拡充，④回遊性を高めるための市町村が設定するサイクリングコースとの連携，⑤サイクリストの力量に応じたコース選択を可能にするルート情報の充実，⑥サイクリスト向けのサービスを提供する宿泊施設への支援などに取り組むこととしています。



図－4 矢羽根型路面標示，ピクトグラム等のイメージ

4. 田園サイクリングコース等の整備

富山県では「富山湾岸サイクリングコース」に加え，「田園サイクリングコース」の整備，その二つを結ぶ「湾岸・田園連絡サイクリングコース」の整備を進めています。具体的な整備内容は，ナビゲーターライン，分岐点における路面標示の設置です。

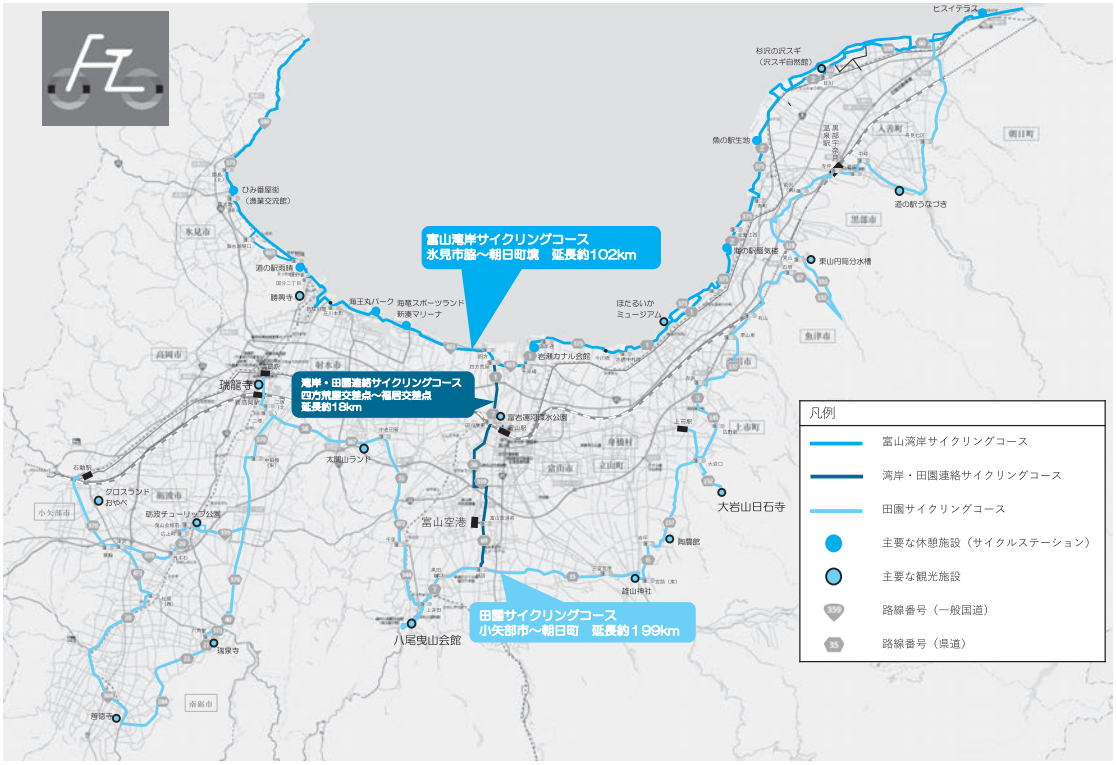
(1) 田園サイクリングコース

平成28年度に，上市町から高岡市までの延長約71kmを整備し，令和元年度に県東部へ延伸し，朝日町で富山湾岸サイクリングコースに接続しました。令和2年度には県西部に延伸整備し，延長約199kmとしています。

大岩山日石寺（上市町）や「おわら風の盆」の八尾の街並み（富山市八尾），国宝瑞龍寺（高岡市）など，富山県の歴史や文化を感じながら田園風景の中を走るコースとしています。剣岳をはじめとした，迫力ある山々の景色も楽しめます。

(2) 湾岸・田園連絡サイクリングコース

平成29年度に，富山湾岸サイクリングコースと田園サイクリングコースを接続し，富山空港を経由する約18kmの「湾岸・田園連絡サイクリングコース」を整備しています。湾岸・田園のコ



図－5　富山県のサイクリングコース全体図

ースを接続することにより，周遊性が高まり，サイクリストにとって多様なコース選択が可能となると考えています（図－5）。

5. 取組体制

県では，平成31年3月施行の「富山県自転車活用推進条例」に基づき，「富山県自転車活用推進計画」を策定し，①自転車にやさしい都市環境の形成，②自転車を活かした健康づくりの推進，③サイクルツーリズムの推進，④安全で安心な自転車社会の実現，という目標を設定し，さまざまな取組を進めています。

令和2年度には，さらなる自転車活用推進に向けて自転車・スポーツ関係団体，観光・交通関係団体などをメンバーとした「富山県自転車活用推進連絡会議」を設置しました。

また，走行環境の整備，充実については，平成30年度に国，県，市町村の道路管理者，県サイクリング協会等をメンバーとした「富山県サイクリングコース整備連絡調整会議」を設置し，連携して取組を進めています。

6. おわりに

ナショナルサイクルルートに指定された「富山湾岸サイクリングコース」を基幹的なルートとし，「田園サイクリングコース」や市町村において設定されているサイクリングコース等と一体的に活用することで，相互の魅力が高まり，観光振興にもつながるものと考えています。

是非，本県にお越しいただき，ナショナルサイクルルートに指定された「富山湾岸サイクリングコース」のサイクリングはもとより，本県の歴史，文化，食などさまざまな魅力を満喫いただきたいと思います（写真－2）。

写真－2　富山湾鮨